みんなの声・市民とのかけ橋

第６９号
2011.5.1

むろらん市議会だより

発行／室蘭市議会
編集／広報特別委員会

新たな時代への
まちづくり

閉校となった東中学校

３月末で閉校した室蘭市立東中学校は、市内でも平たん地にあるため「まちなか再生プラン」に基づく「室蘭市公共施設跡地利用計画」において、高齢者や子育て世代のまちなか居住の促進につながる活用を中心に、宅地分譲など民間活用も含めた土地の有効利用が期待されています。同じく閉校した常盤小学校、日新小学校、鶴ケ崎中学校、御前水中学校のグラウンドは、スポーツ振興の一環として利用しながら、今後の活用策が検討されています。

平成23年第１回室蘭市議会定例会日程

○2月	28日	本　会　議	（開会、市長説明、議案説明）
○3月	4日	本　会　議	（追加議案の説明、代表質問）
○3月	7日	本　会　議	（代表質問）
○3月	10日	本　会　議	（質疑・一般質問）
○3月	11日	特別委員会	（白鳥新道・幹線道路建設促進）
		本　会　議	（質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか）
○3月	14日	常任委員会	（総務、経済建設）
○3月	15日	常任委員会	（民生）
○3月	16日	特別委員会	（一般会計予算審査）
○3月	17日	特別委員会	（一般会計予算審査）
○3月	18日	特別委員会	（特別会計予算審査）
○3月	22日	委　員　会	（議会運営）
○3月	23日	特別委員会	（広報）
		委　員　会	（議会運営）
		本　会　議	（各種議案の議決ほか、閉会）

第１回定例会開催

平成23年第１回室蘭市議会定例会が、左記日程のとおり、24日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として平成23年度の一般会計予算を初め、特別会計及び企業会計の各予算を中心に条例改正等を含む議案23件、人事案件２件、議員提出議案として意見書案１件について、審議・議決しました。

代表質問

各会派の代表質問及び答弁から14項目を取り上げ、要旨を紹介します。

新政会　大友（おおとも）　勇（いさむ）

市長の行政理念について

【問】「まちづくり」も「ものづくり」も結局は「ひとづくり」が基本と思うが、新宮市政16年間の結果認識は。

【答】市民のボランティア活動など大きな市民力をいただいた。職員も厳しい財政状況を乗り越えるため頑張り、力を発揮し、私も行政のトップとして思いやりの心をもって積極果敢に行動することを示してきたつもりである。

市民によるボランティア活動は
行政にとって大きな力となった

指定管理者制度に課題

【問】公共施設の指定管理者制度の導入の目的は、市民サービス向上と管理費削減であったが、制度導入で責任体制が不明確になり、施設の将来ビジョンも無く、利用者の不安と不評の声が聞かれるが。

【答】民間事業者の知恵と工夫を生かした自主事業が展開され、サービス向上に努力されているが、一方では施設の老朽化による安全点検の必要がある。新たな基準となる修繕費を設定し、指定管理者の負担の明確化を図っていく。

医師の定年延長制の検討を

【問】地域の医師不足の中で、市立病院医師の定年（現行65歳）を延長し医師確保と医療体制の確立に努めるべきでは。

【答】医師確保は喫緊の課題であり、当面嘱託任用で運用し、定年延長はできるだけ早い時期に制度化することが望ましいと考える。

学校統廃合と地域支援組織

【問】小学校の21校区が最終的に9校区に集約され、校区が広大化し、学校地域支援の再編成が急がれるが対応は。

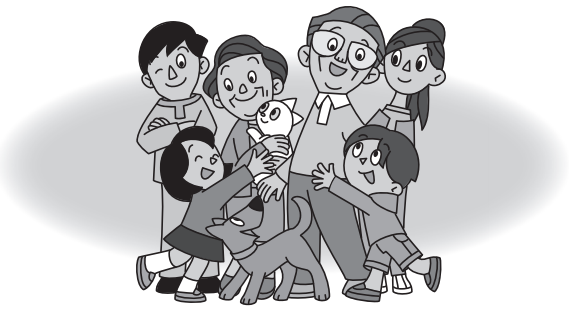
【答】広い通学区域となり、スクールバスやスクール児童館、安全対策など諸課題が考えられる。23年度早々に関係団体と組織を立ち上げたい。

市政・創造21　山中（やまなか）　正尚（まさなお）

市民が安心して暮らせるまちづくりについて

【問】地域活動を担う町会役員の高齢化やなり手が不足する中、活動する民生委員をサポートする地域との連携が、安心の地域づくりに必要では。

【答】民生委員と連合町会の情報交換会を開催しており、今後は町会に福祉部を新設し、役員としての民生委員の参加を検討する。また、民生委員と福祉委員を初め町内会や商店会などが連携し、地域全体で高齢者等を見守る体制が重要と考えている。


民生委員と地域が連携し
高齢者を見守る体制づくりが必要

【問】公共施設と同様に民間福祉施設の耐震診断も重要で、他市で行っている補助金制度の導入が必要では。

【答】民間の福祉・教育施設や病院などの耐震化も重要で、そのためにはまず耐震診断が必要であり、今後、国の補助事業の活用も含め検討していく。

業務の電子化について

【問】業務の一元化管理に必要なGIS（地理情報システム）化を早急に進め、業務の信頼性と効率化を図ることが、市民サービスに大切では。

【答】職員が減少する中で必要なシステムであり、22年度は道路台帳と地籍図のデータ化が終了。23年度には国土地理院のデータを元に都市計画現況図を更新予定である。これらはGISの基礎としても活用でき、今後は課題の整理が必要。

PCB（※1）廃棄物処理施設増設事業について

【問】受け入れ条件である地元企業の活用は、地域経済効果に直接つながる事業であり、今後の見通しは。

【答】操業の安全確保と、地元企業の人材・技術を活用した施設建設や事業運営は発注者に十分理解が得られている。また、全体の事業説明会も予定されていることから、地元企業の力を期待している。

民主・市民クラブ
水江（みずえ） 一弘（かずひろ）

環境産業の取り組みについて

【問】本市の環境産業の取り組みは雇用創出等に大きな効果がある。PCB廃棄物処理事業は平成28年度までの時限立法であり、この事業が終了するまでの間に次の大型プロジェクトを打ち出すべきと考えるがどうか。

【答】本市の環境産業拠点形成の今後の方向性については、シップリサイクル（※2）の事業化や環境・エネルギー関連の先導的な取り組みなどを進める必要があり、新年度に発足予定の産・学・官連携の研究会から意見をいただくとともに、国や道とも連携し、様々なプロジェクトについて検討していく。

環境産業拠点形成のプロジェクトとして考えられているシップリサイクル

学力向上の取り組みについて

【問】本市が独自に行っている標準学力調査の必要性と、新年度に配置予定の学習支援員を将来的にさらに増員する考え、また、家庭での学習習慣の確立についての見解は。

【答】標準学力調査は個々の児童生徒の学習内容の到達度が的確に把握でき、速やかに学習指導に活用できる。学習支援員については小学校2校を研究奨励校に指定し、当面1年間の検証を行い、増員についてはその後検討していく。本市の小学生は全国に比較して家庭学習の時間が極めて少ない。今後、保護者向けのリーフレット等を作成するなど、取り組みを進める。

医師の確保について

【問】医師の確保については、西胆振全体の問題として取り組むべき。西胆振の首長間での連携の考えについて伺う。

【答】医療は市町村の境界を越えて広域化している。定住自立圏としても重要なテーマであり、今後首長間でますます密接な連携が必要と考える。

公明党室蘭市議会
細川（ほそかわ） 昭広（あきひろ）

第三セクターの改革について

【問】副市長が7社の社長に就任しているが、改革プランを実行し、成果を示すことができるか伺う。

【答】当面は現行体制を維持せざるを得ないが今後、第三セクターの経営統合などの改革を進め、経営の強化を図る中で、常勤役員の配置を検討する。

保育行政について

【問】将来の保育行政の目指すべき方向について伺う。

【答】就労しながら子育てをする家庭等を支えるため、安心・安全な保育サービスを引き続き提供していくことが重要。今回新たに取り組む自園型病児保育事業については、利用状況を見ながら保育ニーズに的確にこたえていく。

市民ニーズにこたえた保育行政を

介護保険事業計画について

【問】老老介護や独居高齢者、認知症高齢者などが増加しているが、施設入所が困難な状況にあって、第5期計画ではどのように取り組むか伺う。

【答】利用者の意向や介護保険料に与える影響などを見きわめながら、認知症高齢者グループホームなどの整備目標を設定する。また、国は老老介護や独居高齢者などの方々が、できる限り在宅での生活が継続できるよう、新たなサービスとして24時間対応の地域巡回型訪問サービスの創設を検討しており、本市においても利用者ニーズや事業者の意向を把握しながら、居宅サービスの充実を図る。

観光の取り組みについて

【問】市長を退任しても、観光大使の役割を担って観光資源をPRする考えを伺う。

【答】今後も一市民として本市をあらゆる場面でPRして行きたいと考えている。

【用語解説】

※1　PCB…ポリ塩化ビフェニル。燃えにくい、電気を通しにくいなどの性質があり、トランスなどに広く利用されたが、生体に蓄積され有害であるため、生産・使用が中止された。過去の生産物は無害化処理をすることが義務づけられている。

※2　シップリサイクル…廃船を解体し、鉄資源として再利用する事業。室蘭市では産・学・官・民連携による研究会が中心となり、環境や安全に配慮した実証事業が昨年行われた。

質疑・一般質問

議員8人の質疑・一般質問及び答弁から14項目を取り上げ、要旨を紹介します。

市政・創造21　沼田　俊治

地域医療全体最適化の考え

【問】公立・民間病院を問わず、全体最適という考えで地域の医療政策・連携を進めることが重要と考えるが見解は。

【答】市内基幹病院において特定の診療科が統合される中、室蘭市医師会でも重要視する小児救急医療等の基幹病院間連携の早期実現など、今後も医療機関の密なる連携が必要。

みなと診療所の今後の運営

【問】整形外科等の高齢者の一次医療へのニーズや施設・設備の効率的利用の観点からも診療科目増強や健診業務の充実が必要と考えるが見解は。

【答】高齢者のワンストップでの受診のニーズは高いと認識しており、健診の要望も多く、診療範囲や健診業務の拡大についても検討していくことが必要と考えている。

みなと診療所の業務の充実が期待される

日本共産党　田村　農夫成

国民健康保険について

【問】保険料が高すぎる。一般会計からの独自支援により、保険料を下げる等負担軽減をしている市もある。高齢者に優しいまちづくりを掲げる市長こそ実施すべき。

【答】国保料の負担が「協会けんぽ」など他の保険に比べ高いとは承知している。国に対して補助の増加などの抜本対策を強く求めていく。

平和のまちづくりについて

【問】市長は平和都市を宣言したが、空母キティホークや自衛艦のイラク派遣の室蘭港使用を阻止できなかった。今後は原子力空母寄港の可能性もあるが、市民の平和を願う声にどうこたえるのか。

【答】キティホークは核搭載がないこと等を確認し入港を認めた経緯がある。今後も被爆国の国民として平和に対する強い意志を持って努力していかなければならないと考える。

市政・創造21　立野　了子

夜景観光について

【問】地上デジタル放送移行後の各放送局の動向とライトアップの存続について伺う。

【答】再利用検討中の2局の動向を速やかに把握し、現在ライトアップされていない鉄塔2基の可能性も含めた継続の方法を室蘭ルネッサンスと相談していきたい。

室蘭のシンボルであるライトアップの存続は

学校統合について

【問】武揚小学校での言語指導教室や適応指導教室の今後は。また、中央・港南地区4小学校の統合後、閉校される校舎を活用し、「仮・学校歴史博物館」とする考えは。

【答】通級児童生徒の推移から新設校へ設置を検討する。4校の歴史資料の調査分析を行い、学校の歴史や文化価値の高い資料など、保存すべき資料を確定し、場所や展示方法を検討していく。

公明党室蘭市議会　砂田　尚子

行財政改革について

【問】本市の総合計画は策定期間が10年であり、人口減少、社会情勢が刻々と変化する中にあって、10年という総合計画はどうあるべきなのか。揺らぎのない大きな方針の上で変われる幅を持った計画という考えも必要では。

【答】新たな政策判断や社会経済情勢等の変化に合わせ、基本構想の変更を行う場合は、再度議決を受けることにより対応は可能である。また、総合計画の推進を図るための個別計画については、改定時期に合わせ内容を変更するとともに、基本計画策定後において、新たな計画の策定が行われた場合は追加するとしていることから、一定程度、諸事情の変化に合わせた対応が可能と考えている。

新政会　金濱（かなはま）　元一（げんいち）

中小企業等振興条例について

【問】「中小企業等振興条例」は、各産業分野において、ハード事業中心からソフト事業を含んだ支援へ転換するために、本条例を見直す時期にきているのではないか。

【答】現行条例は、商店街の環境整備を中心としてきたが、時代の要求へ対応していく必要がある。商業者が行う「賑わい創出事業」などのソフト事業支援のあり方について検討していく。

小1プロブレム（※1）について

【問】特別支援教育のうち「小1プロブレム」への対応は、どのように考えているか。

【答】幼稚園や保育所の園児などに課題がある場合は、入学予定の小学校へ積極的な情報提供を行い、円滑な受け入れ体制をとることとしており、新入学時健康診断の際に、23年度増員する就学相談員による相談窓口の設置も検討する。

民主・市民クラブ　花釜（はながま）　康之（やすゆき）

フッ化物洗口（※2）の実施について

【問】洗口の実施時期、回数及び方法は。また、希望しない児童生徒への対応は。

【答】2学期から実施予定。週1回、30秒から1分間程度のブクブクうがいを行う。希望しない児童生徒の対応は、集団的行動に配慮した方法を検討中。

市教委の主体性ある教育行政の推進について

【問】今回の北教組事件を口実に、監督権限を有する市教委を飛び越えて道教委の情報提供制度が設けられた。市教委の主体性を強く望むが見解は。

【答】これまで本市の状況や実態に即して市民の声や教育現場の課題を申し入れてきた。今後も未来を担う子供たちのために法令遵守と市民の信頼にこたえる教育行政に努める。

民主・市民クラブ　佐藤（さとう）　潤（じゅん）

公共事業の定義と役割について

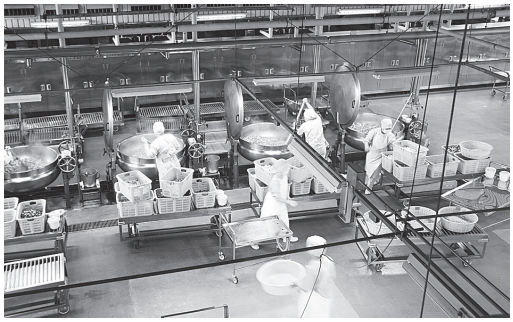
【問】公共事業は市民の税金を投入するため、市民や地域が幸せになることが求められていると考える。公共事業の定義と役割を示してほしい。

【答】道路、港湾、公園、上下水道などの、市場経済のみでは供給が難しい公共施設の整備事業のことであり、役割としては利便性の向上、安全確保、地域形成、経済波及効果などを期待して行われるものである。

学校給食について

【問】調理部門のみを民間委託することは、各地で偽装請負や労働者派遣法に抵触するといわれている。また、民間委託のメリットは。

【答】偽装請負の疑いや労働者派遣法の抵触については、事前に北海道労働局へ確認していきたい。民間委託のメリットは単年度で約1千万円の経費削減ができる点と考えている。



学校給食センター調理室

新政会　桜場（さくらば）　政美（まさみ）

学級編制の標準見直しは

【問】本年4月1日から35人学級の推進が実施されるが、本市の小学1年生の学級編制数と教職員数はどのようになるか。また、改正標準法案の附則では、小学2年生から中学3年生の学級編制基準を順次改正するようだが、その内容はどのようなものか。

【答】小学1年生が35人学級となる場合は、本市全体で3学級増となり、小学校全体で160学級、教職員は3学級分の3名増員となる。昨年8月の国の定数改善計画案によると、平成23年度から27年度で小学校全学年を35人学級に、平成26年度から28年度で中学校全学年を35人学級に。さらに、平成29年度と30年度の2カ年で小学1、2年生を30人学級にするとされており、この計画案が改正標準法案の基本にあるものと考えている。

【用語解説】

※1　**小1プロブレム**…小学校に入学したばかりの1年生に集団行動がとれない、授業中に座っていられない、話を聞かないなどの状態が数カ月継続する状態。

※2　**フッ化物洗口**…フッ化物水溶液でブクブクうがいを行い、歯のエナメル質表面にフッ化物を作用させ、虫歯を予防する方法。

ちいとあっぷ

≪補正予算について≫

今回の平成23年第１回定例会において、東日本大震災への災害見舞金を含む平成22年度補正予算が計上され、平成23年度予算とともに可決されました。

本来、財政民主主義（国家が財政活動［支出や課税］を行う際は、国民の代表で構成される国会での議決が必要であるという考え方）の立場からいえば、超過支出禁止の原則に基づいて、予算計上額以上の支出はできないことになっています。しかし実際は、予見しがたい事態への対応として、予備費の計上が認められており、さらに予備費でも対応できないような事態が生じる場合には、追加予算を編成することが許されています。

このような年度途中における予算の追加と、追加以外の予算の修正のことを補正予算と言います。

国においては、世界的金融危機による国内不況克服のため、景気経済対策を中心に平成19年度１回、平成20年度２回、平成21年度２回、平成22年度１回の補正予算が執行されました（平成23年3月25日現在）。本市においても、国の補正予算に連動するように毎年のように財政措置がなされ、補正予算が執行されています。

現在の日本では予見しがたい事態というよりも、経済情勢の変化に対応するために、補正予算を編成することが常態化しているようです。しかし、国の財源はほとんどが赤字国債や建設国債と呼ばれる国債発行に頼る部分が大きく、私たち一人ひとりの国民負担が増える可能性もあります。

室蘭市議会としても、しっかりと責任を持って予算執行を監視し、改めるべきは修正を求めていかなければなりません。

編　集　後　記

第１回定例会では新宮市長と同じく、今期で勇退する同僚議員の最後の質疑が繰り広げられました。

私たち広報特別委員も、現委員での編集は今号が最後になりました。「市議会だより」を通して市民のみなさまに議会活動を少しでも身近に感じていただき、理解を得られるよう努力をしてまいりましたが、いかがでしたか？

今後は新たに選ばれた22名の議員による議会活動が始まりますが、よりわかりやすく、親しみやすい広報活動がなされるよう、引き継ぎたいと思います。ご期待ください。　（柏木）

平成23年第１回臨時会議決結果

会期：平成23年2月15日(火)（１日間）

番　号	件　　名	議決結果
議案第1号	平成22年度室蘭市一般会計補正予算（第６号）	原案可決

平成23年第１回定例会議決結果

会期：平成23年2月28日(月)～3月23日(水)（24日間）

番　号	件　　名	議決結果
議案第１号	平成23年度室蘭市一般会計予算	原案可決
議案第２号	平成23年度室蘭市国民健康保険特別会計予算	〃
議案第３号	平成23年度室蘭市介護保険特別会計予算	〃
議案第４号	平成23年度室蘭市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第５号	平成23年度室蘭市水道事業会計予算	〃
議案第６号	平成23年度室蘭市工業用水道事業会計予算	〃
議案第７号	平成23年度室蘭市病院事業会計予算	〃
議案第８号	平成23年度室蘭市公設地方卸売市場事業会計予算	〃
議案第９号	平成23年度室蘭市港湾整備事業会計予算	〃
議案第10号	平成23年度室蘭市下水道事業会計予算	〃
議案第11号	室蘭市職員の給与に関する条例中一部改正の件	〃
議案第12号	室蘭市職員の育児休業等に関する条例中一部改正の件	〃
議案第13号	室蘭市立小中学校設置条例中一部改正の件	〃
議案第14号	室蘭市スポーツ振興審議会条例中一部改正の件	〃
議案第15号	室蘭市老人保健特別会計条例廃止の件	〃
議案第16号	室蘭市地域雇用創出等推進基金条例廃止の件	〃
議案第17号	室蘭市公設地方卸売市場業務条例中一部改正の件	〃
議案第18号	公有水面埋立てに関する件（築地町地先）	〃
議案第19号	平成22年度室蘭市一般会計補正予算（第７号）	〃
議案第20号	平成22年度室蘭市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	〃
議案第21号	平成22年度室蘭市病院事業会計補正予算（第２号）	〃
議案第22号	平成22年度室蘭市港湾整備事業会計補正予算（第３号）	〃
議案第23号	監査委員（識見を有する者）の選任について同意を求める件	同　意
議案第24号	固定資産評価員の選任について同意を求める件	〃
議案第25号	平成22年度室蘭市一般会計補正予算（第８号）	原案可決
意見書案第１号	「子ども・子育て新システム」に関する意見書	〃

市議会ホームページをぜひごらんください！

室蘭市役所ホームページ⇒「市議会のホームページ」「議会中継」

※市議会中継は市議会開会中のみライブで、その他の期間は録画放送でごらんいただけます。

平成23年第２回室蘭市議会定例会　会期（予定）

６月６日(月)～６月28日(火)

※会期の決定及び日程の詳細につきましては、６月２日(木)開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ〔議会日程〕に掲載いたします。